



## ボケ:木瓜

色 黄色~茶色  
染料となる部分 枝・葉

白・淡紅・紅・濃紅……。様々な花色があるボケはまだ寒さの残る春を彩る存在で、盆栽として栽培するのも向いている小低木です。木になる瓜という名前の通り、黄色い実が付き、良い香りがするため果実酒などに使えます。染料として使用する場合は、剪定後すぐに枝を使用しないと良い色が出ないので注意しましょう。

welcome! 秋の植物センター



沢山の写真を使った芸術作品が展示されました。

職場体験学習  
桜修館中等教育学校の生徒さん

菊の鉢の展示や草木染を体験しました。



「呼吸する写真：日本写真芸術専門学校学生作品展」

### ふれあい植物センターご案内

開園時間 午前10時~午後6時  
(入園は午後5時30分まで)  
休園日 毎週月曜日  
(祝日または振替休日のときは翌日の平日)  
入園料 100円  
年間パスポート(1000円)あり  
幼児・区内在住・在学の小中学生と60歳以上の方は無料



※当園は駐車場がありません。公共交通機関又は徒歩でご来園下さい。



# ふれあい植物だより



news letter 2018



# 禁断の果実を アダムとイブは口にしません…

## 野菜と果物の違いって？

「イチゴとスイカは野菜だから、お弁当に持って行ってもおやつにはならないんだよ」と遠足前にクラスメイトの花子ちゃんがこっそり私に教えてくれました。イチゴもスイカもデザートに食べる果物だと思っていたのに、どうして野菜なの？

広辞苑によると

果物：草木の果実の食用となるもの

野菜：生食または調理しておもに副食用とする草本作物の総称。食べる部位により葉菜あるいは葉莖菜・果菜・根菜・花菜に大別。

行政上の分類

果物：樹木になるもの

野菜：茎や蔓などの草本性植物

一般的に考えると野菜は収穫した様々な部分を食用とするのに対して、果物は果実だけを食用とするのが特徴です。

例えば「キュウリやトマトは実」、「ダイコンやゴボウは根」、「キャベツやホウレンソウは葉」というように、野菜の食べる部分はさまざまですが、果物の場合はリンゴでもモモでもマンゴーでも果実の部分のみを食べます。

また、野菜は植物の中でも短命な一年生か二年生の草（草本類）を栽培・収穫し、収穫が終わると畑を片付けて次のものを栽培しますが、果物は草本よりも長寿な多年生の樹木（木本類）になる果実を食用とし、同じ木から何年も、時には何十年も収穫を続けられるという違いもあります。以上にもとづいて考えると、スイカやメロン、イチゴは野菜に分類されません。

日本では果物に分類されるバナナですが、世界には甘くない品種を焼いて料理に使う国や、日本では夏の風物詩のスイカは赤い果肉部分のみを食べますが、皮を炒めて料理に使う国もあります。そもそも野菜と果物の分け方は植物学的な分類と一致しないため、統一された明確な定義がありません。皆さんが普段食卓で目にしている食材たちは、さて野菜？果物？どっちでしょう？

## 「バナナの木」は間違い？

大きなバナナの株を見ると「バナナの木があるよ」と言ってしまうがちですが、植物学的に言うとバナナは木ではなく草です。太くしっかりした幹のように見える部分は偽茎（ぎけい）と呼ばれる葉の鞘が幾重にも重なって太くなっているもので樹木のように固く強いものではありません。どんなに太い茎でも、鋸や包丁などの大きな刃物で切ると、ザクザク切れます。バナナは一生のうちに1回しか花を咲かせません。花が咲いて果実を实らせると、その親株は枯れてしまいます。そのかわり根元で繋がっている子株が育ち、次の世代へと成長するのです。

「木に生るものが果物、草に生るものが野菜」と上記では説明しましたが、バナナはその定義ができた後に日本に入ってきました。その時草なのか木なのか不明であったため、果物の分類になったという説があります。同じようなものでパイナップルも果物に分類されています。

## 果物が熟すのを進める物質：エチレン

リンゴとまだ硬くて食べられないキウイを同じ袋に入れておくと、キウイが熟して早く食べられるようになります。これはリンゴが出すエチレンという気体が果実の成熟を促進させるからです。エチレンは植物の発芽、生長、開花、成熟、器官の脱離、老化などを促進させたり抑制させたりする働きがあります。

リンゴとジャガイモと一緒に置いておくと、リンゴから出たエチレンでジャガイモの芽が出にくくなります。逆に、オレンジやバナナ、トマトをリンゴと共にすると熟すのが早くなります。台所で果物や野菜を保管する時には、場所に気を付けてくださいね。

## 企画展示

### 落ち葉プールで遊ぼう

1月10日(水)～2月25日(日)

落ち葉の中に埋めると、ポカポカ体が暖かくなって知ってる？カブトムシの幼虫になった気分です。



### 水草植物園

2月27日(火)～4月1日(日)

水の中で生きる植物：水草。水中の葉と水上の葉が違う形の植物や、水中で花を咲かせる植物など生態も様々。



## 季節のイベント

### 講座・実習

#### 初心者さん向けハーブ連続講習

①1月27日(土)・②2月24日(土)・③3月17日(土)

時間：13:30～15:30



講師：小川 穰氏(株)AGRU代表

対象・定員：中学生以上の方・15名

(申込先着順) \*全ての回に出席できること

費用：3,000円

申込：1月10日(水)～20日(土)までに電話で

内容：①ハーブで染める

②ハーブソルトをつくる

③ハーブ栽培に必要な土のリサイクル方法



### 季節のワークショップ

1月13日(土)14日(日)

自然素材で干支の戌作り

2月10日(土)11日(日)12日(月)

椿の実で雛人形飾り作り

3月24日(土)25日(日)

コルクの栓でムシムシさん作り

時間：13:00～16:00

(最終参加15:30)

対象・定員：どなたでも

\*材料が無くなり次第終了

費用：1セット100円

申込：当日受付にて



## 自然科学系絵本の読み聞かせ おはなし植物園

植物や生物について詳しく解説する絵本の読み聞かせと、実物の観察や試食体験を行います。普段からよく食卓にあがる野菜や果物、公園や道端でお馴染みの生き物たちの意外な一面を楽しく学べる機会です。

1月17日(水)：

柿の話と柿を食べよう

2月21日(水)：

根っこの話と根っこ(ゴボウ)を食べよう

3月21日(水)：

よもぎ団子のお話と団子を食べよう

時間：15:00～16:00

費用：無料 対象・定員：4歳以上・15名(申込先着順)

申込：毎月10日から当日までに電話で

\*10日が休園日の場合、翌平日に。



### お知らせ 開園時間・休園日のお知らせ

開園：10:00～18:00(最終入園17:30)

1月の休園日：月曜日：15日・22日・29日 火曜日：9日

2月の休園日：月曜日：5日・19日・26日 火曜日：13日

3月の休園日：月曜日：5日・12日・19日・26日

年始の休園日：2018年1月1日・2日・3日

## 花と緑の相談コーナー



植物センタースタッフが承ります。植物センター受付までどうぞ。

ご相談内容によって、後日回答をさしあげる場合もございます。御了承下さい。

\*病気や害虫は、実物の虫や葉をお持ち頂くとより詳しくお答えできます。